

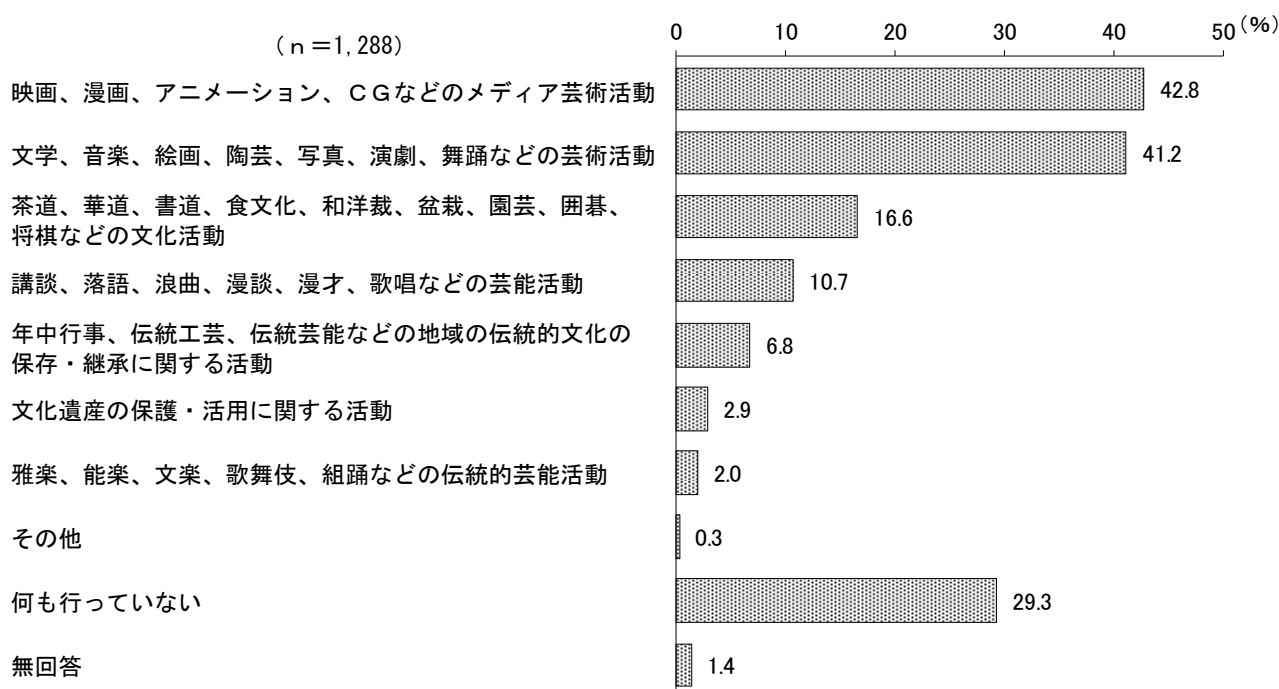
### 3 日常生活について

#### (1) 文化・芸術活動について

問6 あなたが日ごろ行っている文化・芸術活動（鑑賞を含む）は、どのようなものですか。  
次の中からいくつでも選んでください。

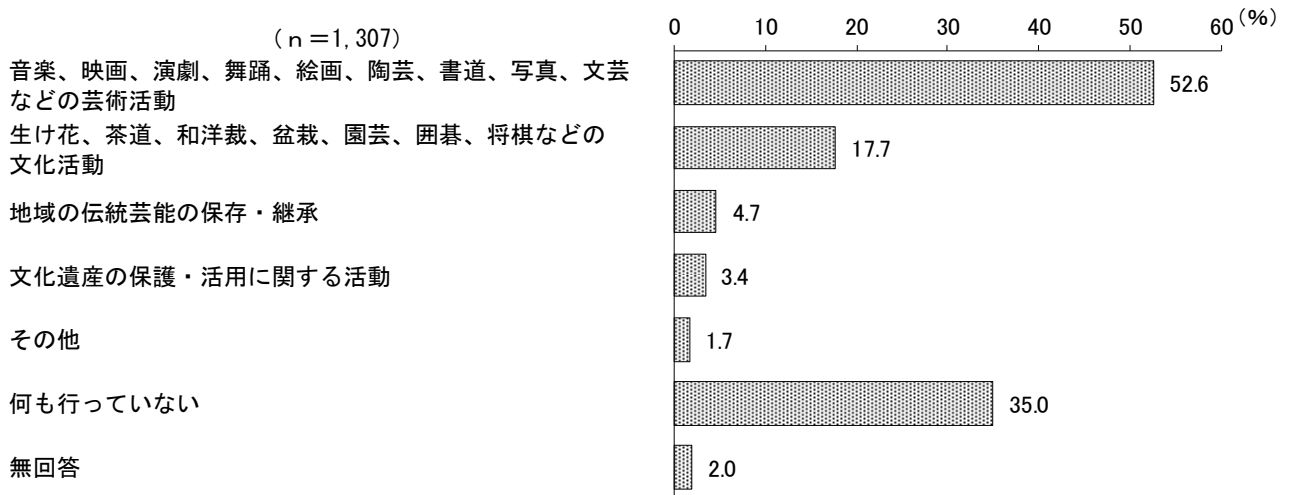
[n=1,288]

1	文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの芸術活動	41.2%
2	映画、漫画、アニメーション、CGなどのメディア芸術活動	42.8
3	雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊などの伝統的芸能活動	2.0
4	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱などの芸能活動	10.7
5	茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動	16.6
6	年中行事、伝統工芸、伝統芸能などの地域の伝統的文化的の保存・継承に関する活動	6.8
7	文化遺産の保護・活用に関する活動	2.9
8	その他	0.3
9	何も行っていない	29.3
	(無回答)	1.4



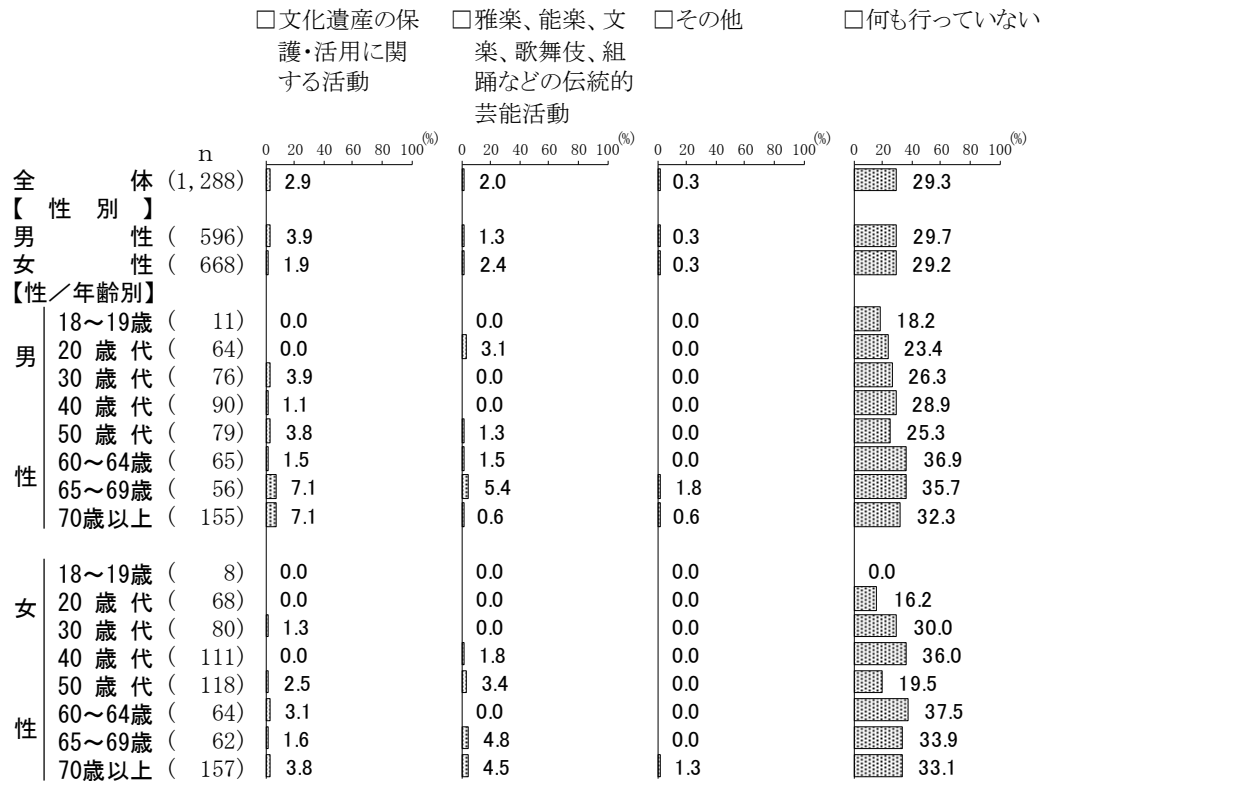
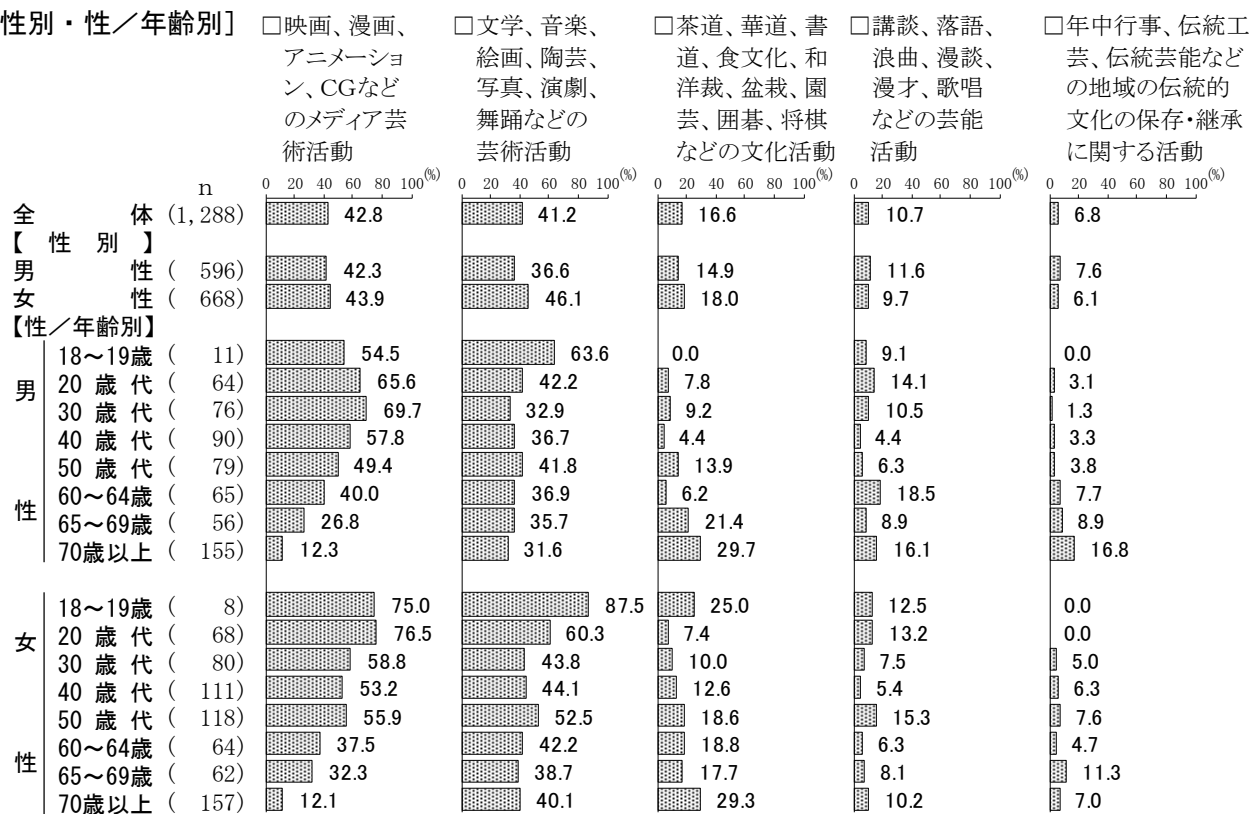
全体で見ると、「映画、漫画、アニメーション、CGなどのメディア芸術活動（以下『メディア芸術活動』という。）」（42.8%）が4割を超えて最も高く、次いで「文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの芸術活動（以下『芸術活動』という。）」（41.2%）、「茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動（以下『文化活動』という。）」（16.6%）の順となっている。一方、「何も行っていない」（29.3%）がほぼ3割となっている。

[過去の調査結果]



過去の調査結果との比較は、今回調査で選択肢を大幅に見直したため、比率を直接比較することができないことから、前回（令和2（2020）年）調査結果のみを参考として示す。

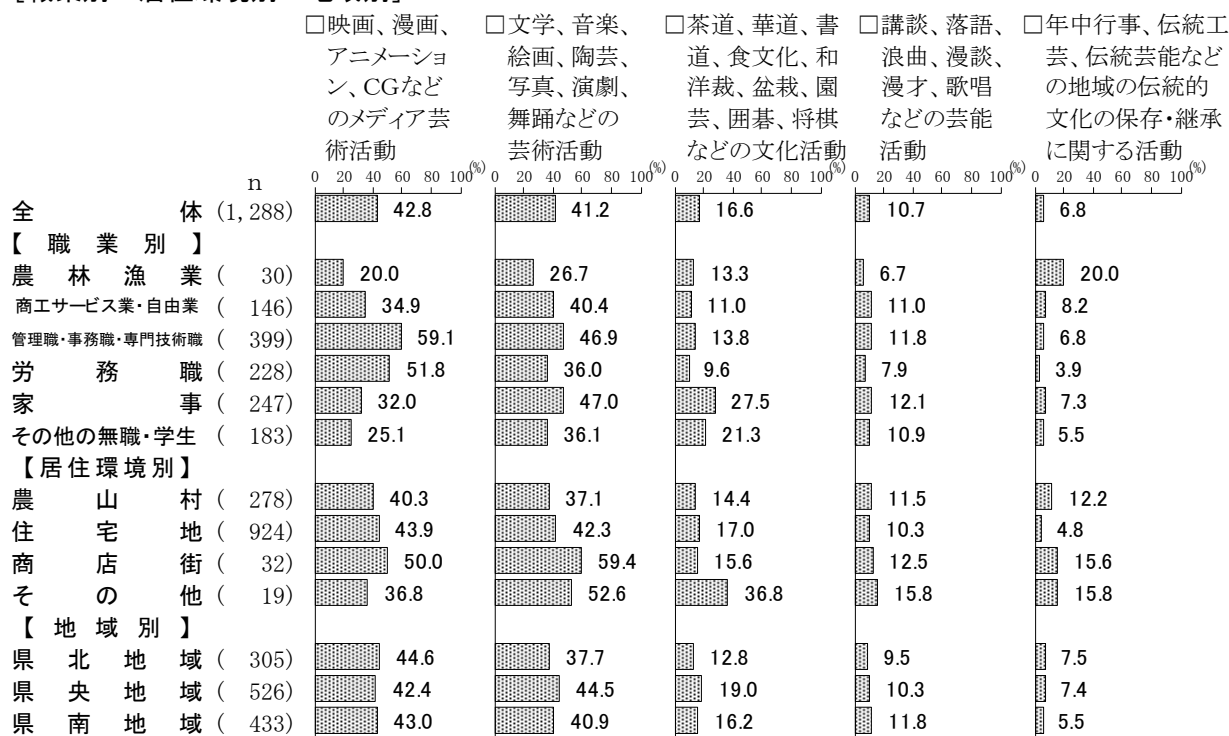
[性別・性／年齢別]



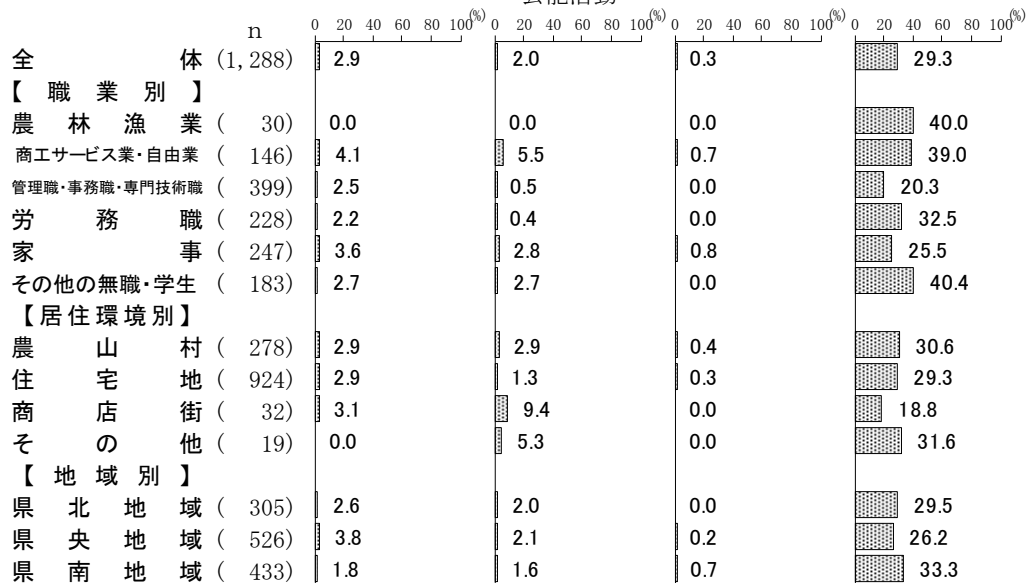
性別でみると、『芸術活動』では〈女性〉(46.1%)が〈男性〉(36.6%)より9.5ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『メディア芸術活動』では〈女性20歳代〉が76.5%、〈男性30歳代〉が69.7%、〈男性20歳代〉が65.6%と高くなっている。『芸術活動』では〈女性20歳代〉が60.3%と高くなっている。『文化活動』では〈男性70歳以上〉が29.7%、〈女性70歳以上〉が29.3%と高くなっている。「年中行事、伝統工芸、伝統芸能などの地域の伝統的文化の保存・継承に関する活動（以下『地域の伝統的文化の保存・継承』という。）」では〈男性70歳以上〉が16.8%で他の年代と比べて高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



□文化遺産の保護・活用に関する活動 □雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊などの伝統的芸能活動 □その他 □何も行っていない



職業別で見ると、『メディア芸術活動』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が59.1%、〈労務職〉が51.8%と高くなっている。『文化活動』では〈家事〉が27.5%と高くなっている。『地域の伝統的文化の保存・継承』では〈農林漁業〉が20.0%と高くなっている。

居住環境別で見ると、『地域の伝統的文化の保存・継承』では〈商店街〉が15.6%、〈農山村〉が12.2%で〈住宅地〉と比べて高くなっている。

地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

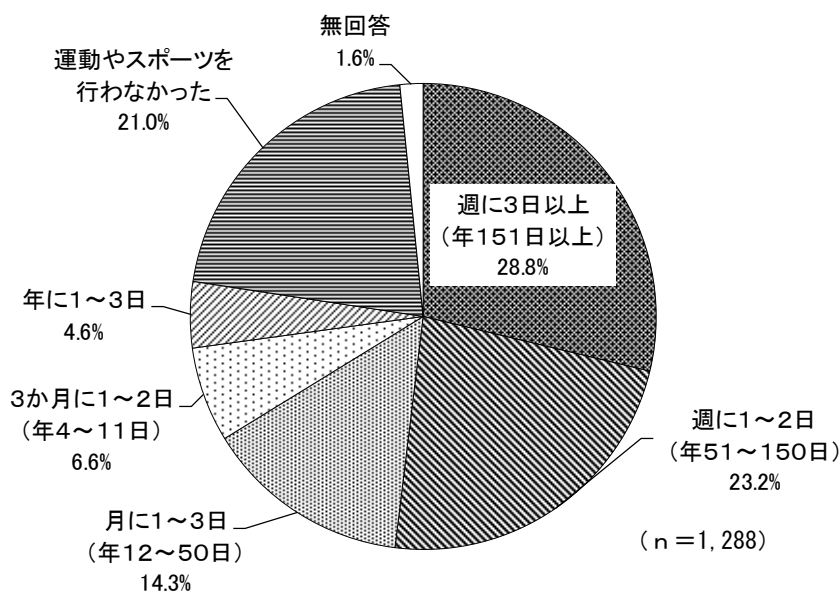
## (2) スポーツ活動について

問7 あなたは、この1年間にどの程度運動やスポーツ(※)を行いましたか。次の中から1つ選んでください。

※ 運動やスポーツには、ウォーキング(散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなど)、階段昇降(2アップ3ダウンなど)、ジョギング、水泳、体操(ラジオ体操、エアロビクスなど)、室内運動器具を使ってする運動、レクリエーションスポーツ(フライングディスク、スポーツチャンバラなど)、ゲートボール、登山、ゴルフ、釣り、サイクリングのほか、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなどを含みます。

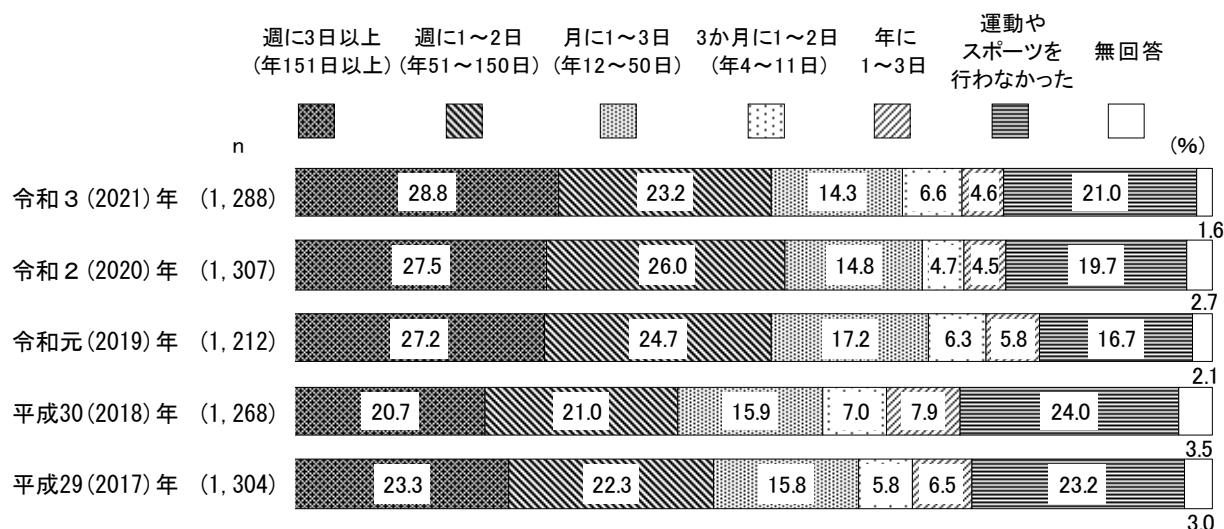
[n=1,288]

1	週に3日以上(年151日以上)	28.8%	4	3か月に1~2日(年4~11日)	6.6%
2	週に1~2日(年51~150日)	23.2%	5	年に1~3日	4.6%
3	月に1~3日(年12~50日)	14.3%	6	運動やスポーツを行わなかった	21.0%
				(無回答)	1.6%



全体で見ると、「週に3日以上(年151日以上)」(28.8%)が3割近くで最も高く、次いで「週に1~2日(年51~150日)」(23.2%)、「月に1~3日(年12~50日)」(14.3%)の順となっている。一方、「運動やスポーツを行わなかった」(21.0%)が2割を超えている。

[過去の調査結果]



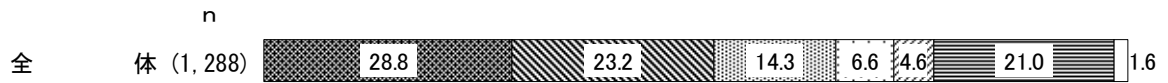
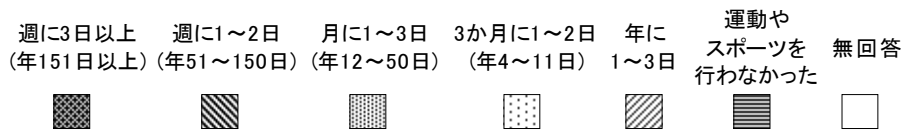
過去の調査結果と比較すると、前回（令和2(2020)年）と大きな傾向の違いはみられない。

なお、平成30(2018)年以前の調査では、質問文中の「運動やスポーツ」の注釈(※)の文言が異なるため、比率を直接比較することができないことから、参考として示す。

(※) 平成30(2018)年以前の「運動やスポーツ」の注釈は以下のとおりである。

※ 運動やスポーツには、ウォーキング（歩け歩け運動、散歩などを含む）、ジョギング、体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びを含む）、室内運動器具を使ってする運動、ニュースポーツ（ゲートボール、グラウンドゴルフ、インディアカなどを含む）、登山、ゴルフ、釣り、サイクリングなどを含みます。

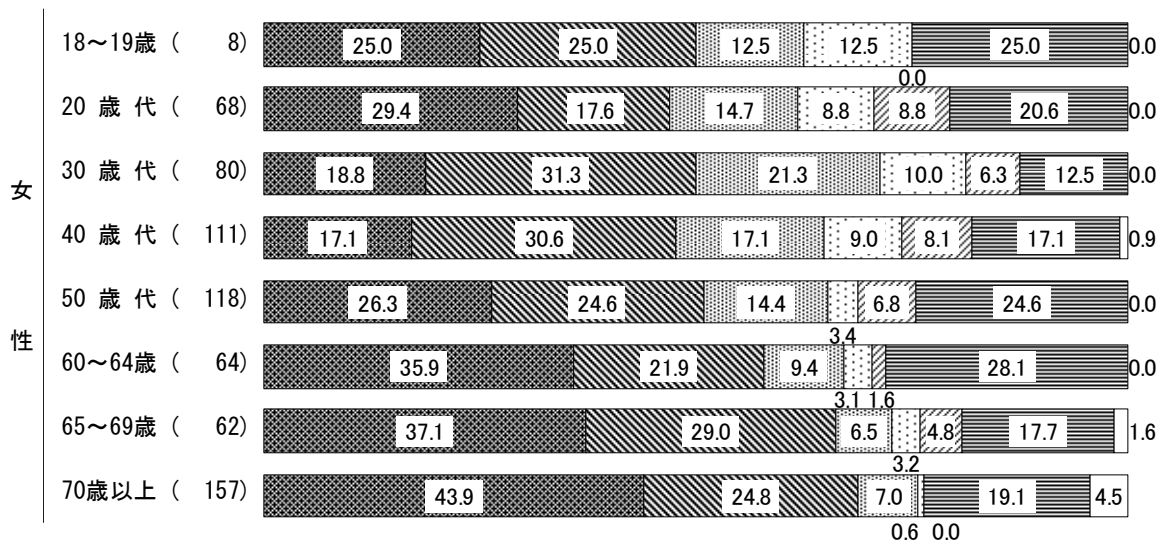
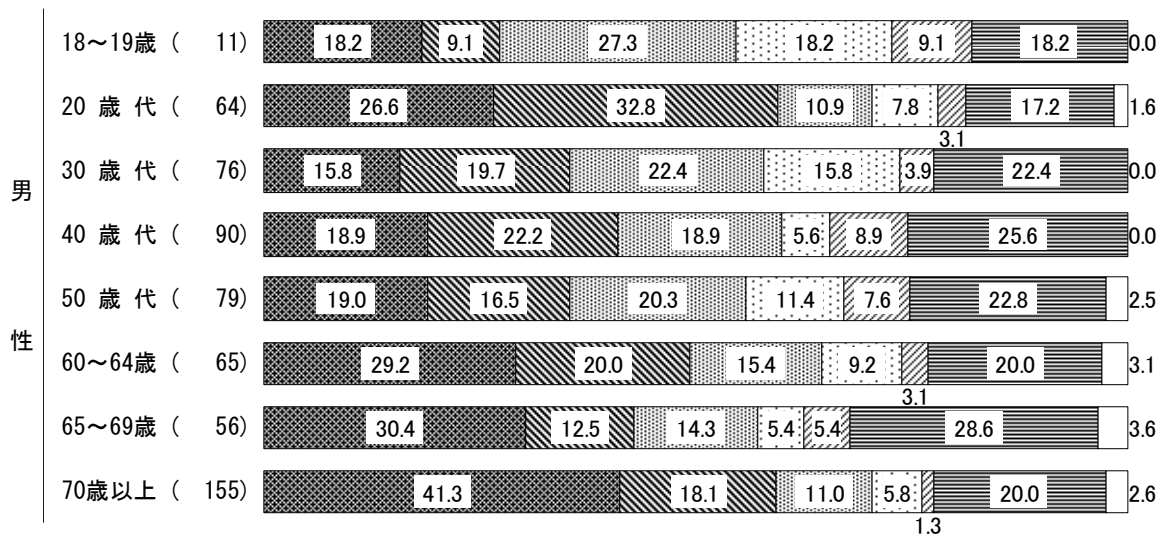
[性別・性／年齢別]



【性別】 (％)



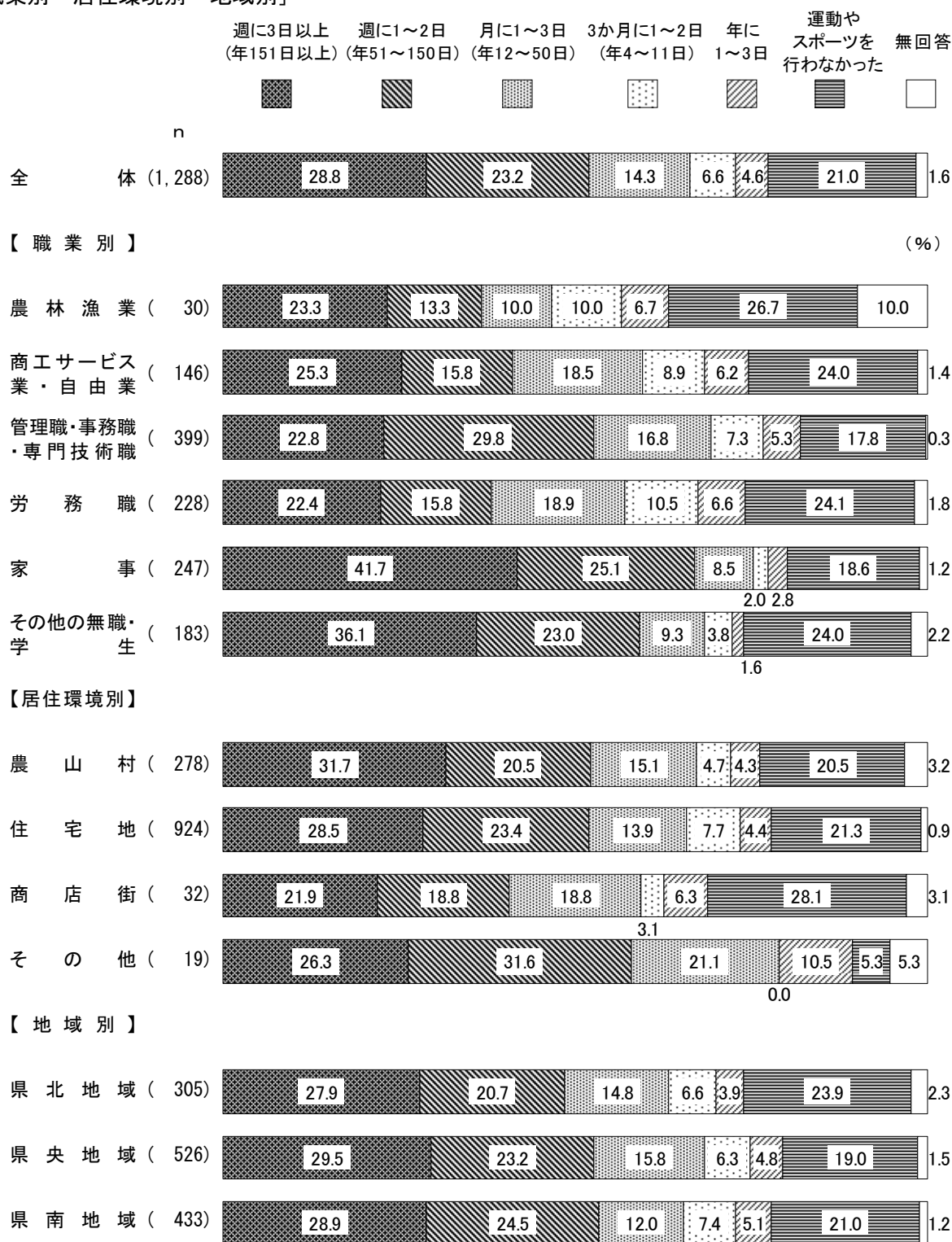
【性／年齢別】



性別でみると、「週に1~2日 (年51~150日)」では〈女性〉 (25.9%) が〈男性〉 (19.8%) より6.1ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「週3日以上 (年151日以上)」では〈女性70歳以上〉が43.9%、〈男性70歳以上〉が41.3%と高くなっている。「3か月に1~2日 (年4~11日)」では〈男性30歳代〉が15.8%で他の年代と比べて高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「週に3日以上（年151日以上）」では〈家事〉が41.7%と高くなっている。「週に1~2日（年51~150日）」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が29.8%と高くなっている。居住環境別でみると、「運動やスポーツを行わなかった」では〈商店街〉が28.1%と高くなっている。地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

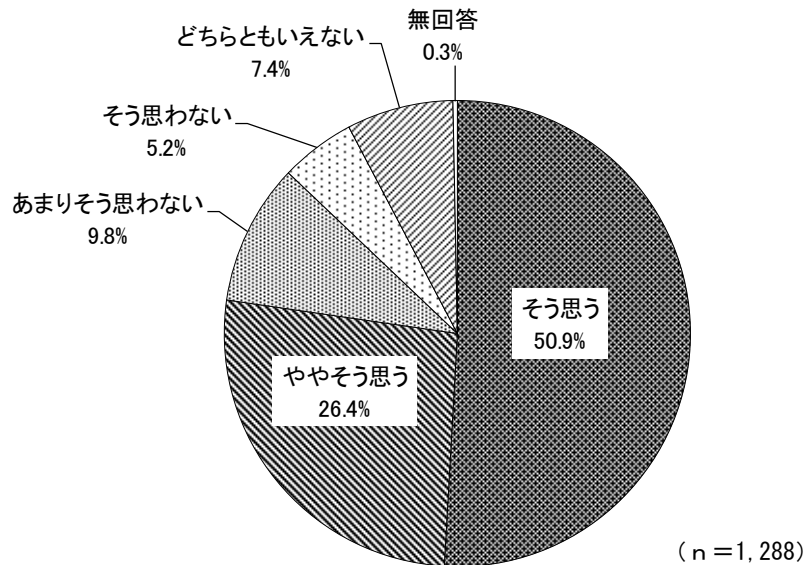


### (3) 住んでいる地域について

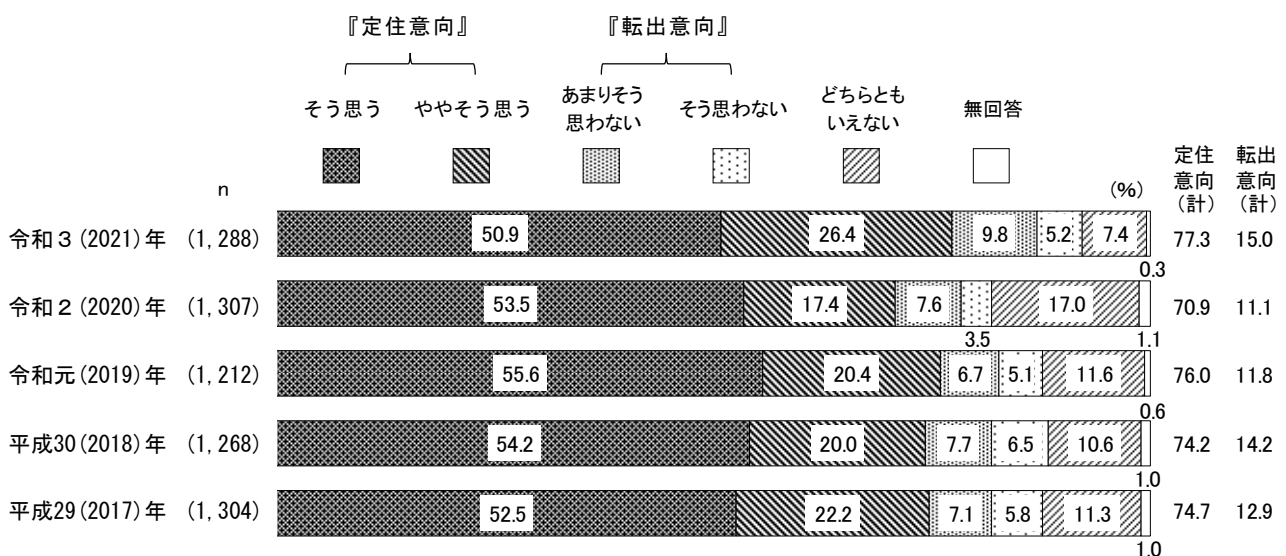
問8 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,288]

1	そう思う	50.9%	4	そう思わない	5.2%
2	ややそう思う	26.4	5	どちらともいえない	7.4
3	あまりそう思わない	9.8		(無回答)	0.3

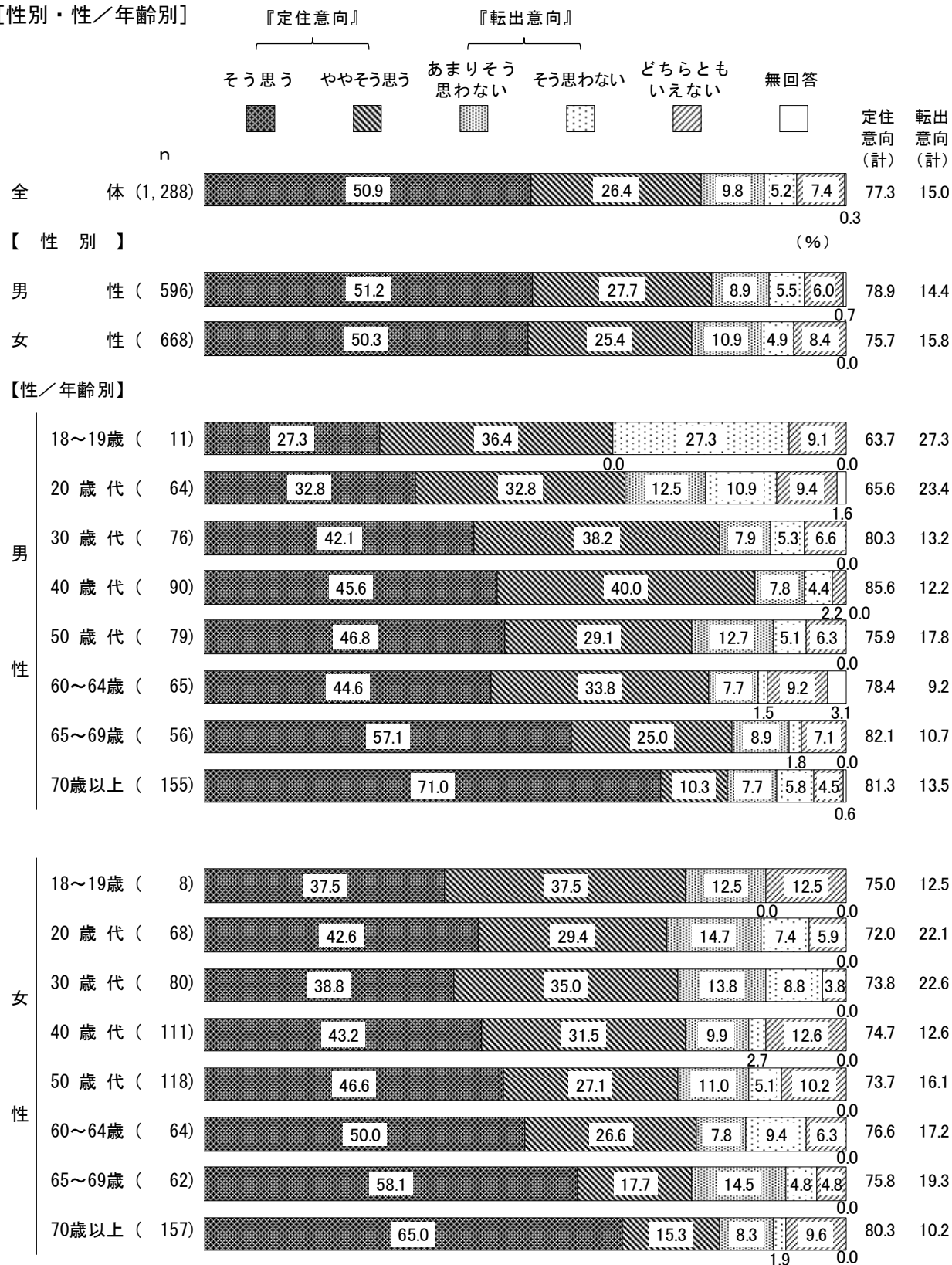


全体でみると、「そう思う」(50.9%)と「ややそう思う」(26.4%)の2つを合わせた『定住意向』(77.3%)が8割近くと高くなっている。一方、「あまりそう思わない」(9.8%)と「そう思わない」(5.2%)の2つを合わせた『転出意向』(15.0%)が1割半ばとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『定住意向』が前回(令和2(2020)年)より6.4ポイント増加している。一方、「どちらともいえない」が前回(令和2(2020)年)より9.6ポイント減少している。

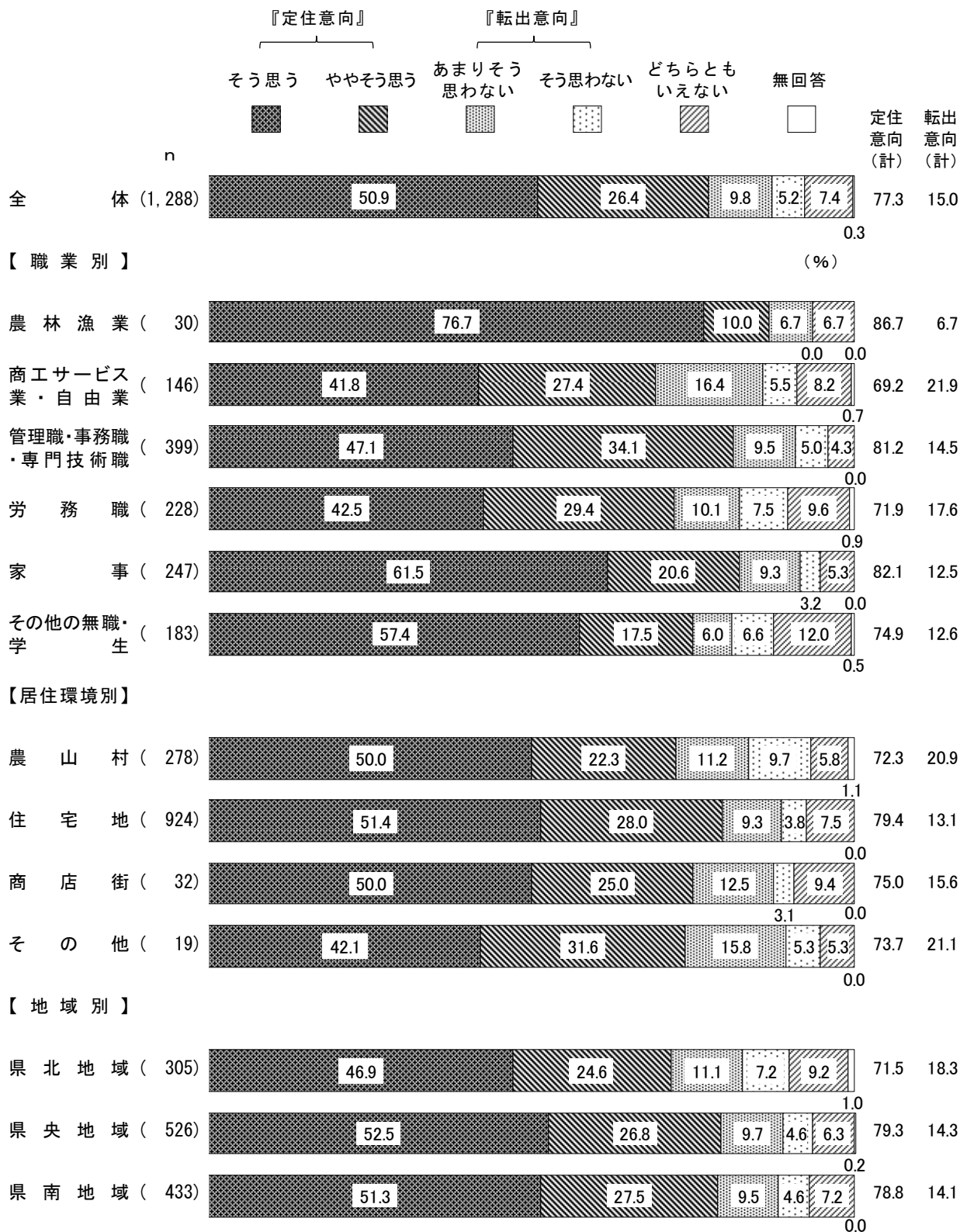
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「そう思う」では〈男性70歳以上〉が71.0%、〈女性70歳以上〉が65.0%と高くなっている。「ややそう思う」では〈男性40歳代〉が40.0%と高くなっている。『定住意向』では〈男性40歳代〉が85.6%と高くなっている。一方、『転出意向』では〈男性20歳代〉が23.4%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「そう思う」は〈農林漁業〉が76.7%、〈家事〉が61.5%と高くなっている。「ややそう思う」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が34.1%と高くなっている。一方、「あまりそう思わない」では〈商工サービス業・自由業〉が16.4%と高くなっている。

居住環境別でみると、『転出意向』では〈農山村〉が20.9%と高くなっている。

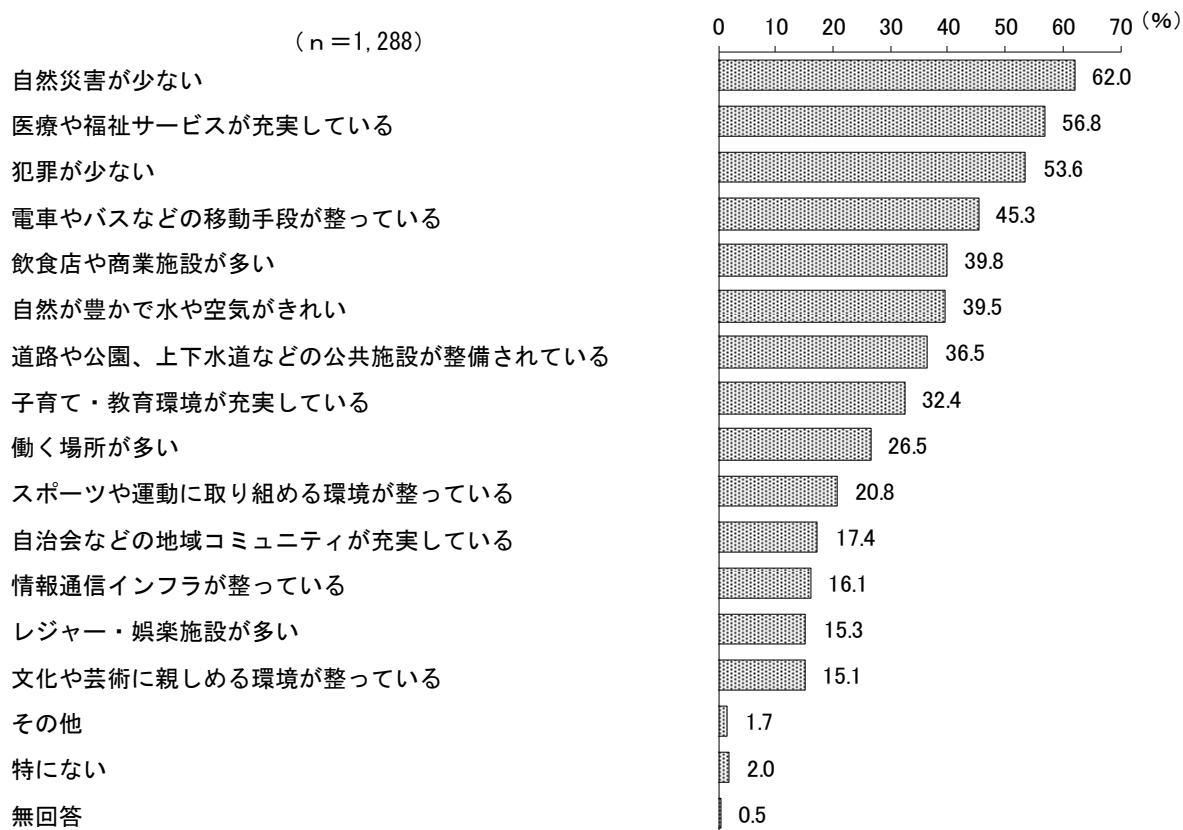
地域別でみると、『転出意向』では〈県北地域〉が18.3%と高くなっている。

#### (4) 住み続けるための理由について

問9 今後も住んでいる地域に住み続けていくためには、どのようなことが大切だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

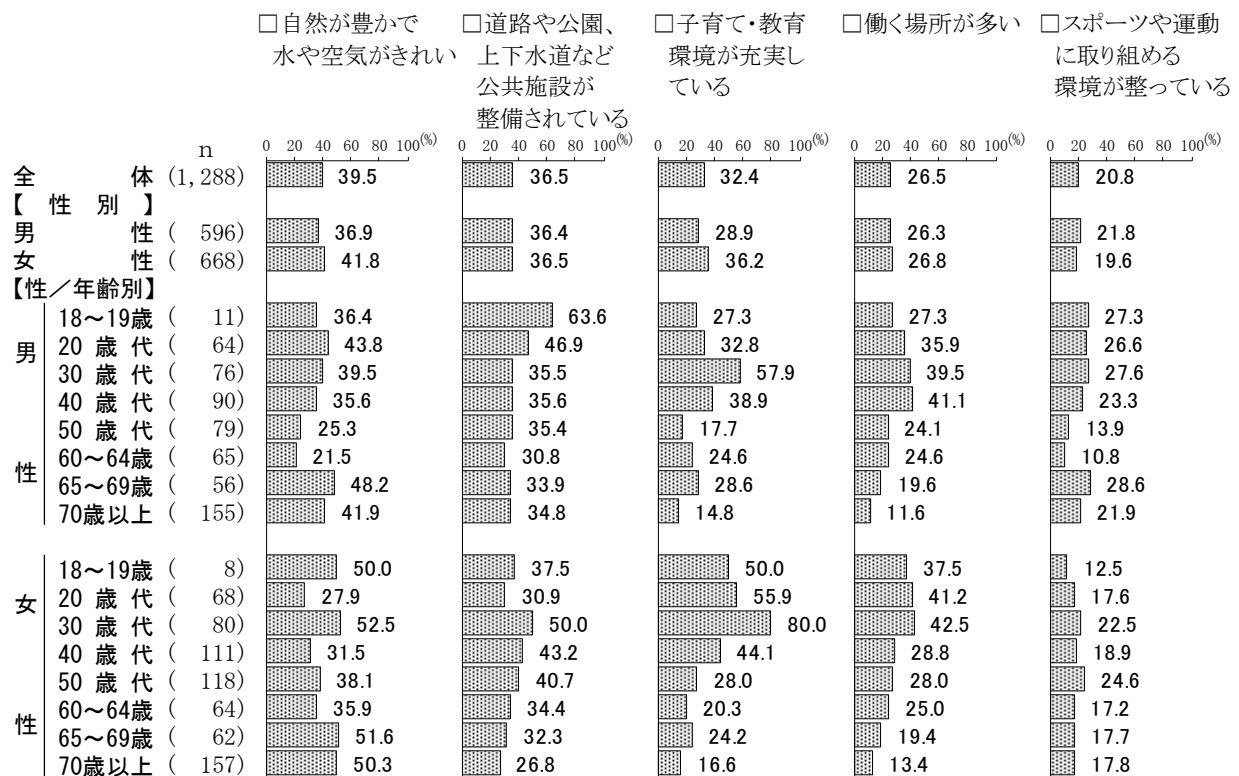
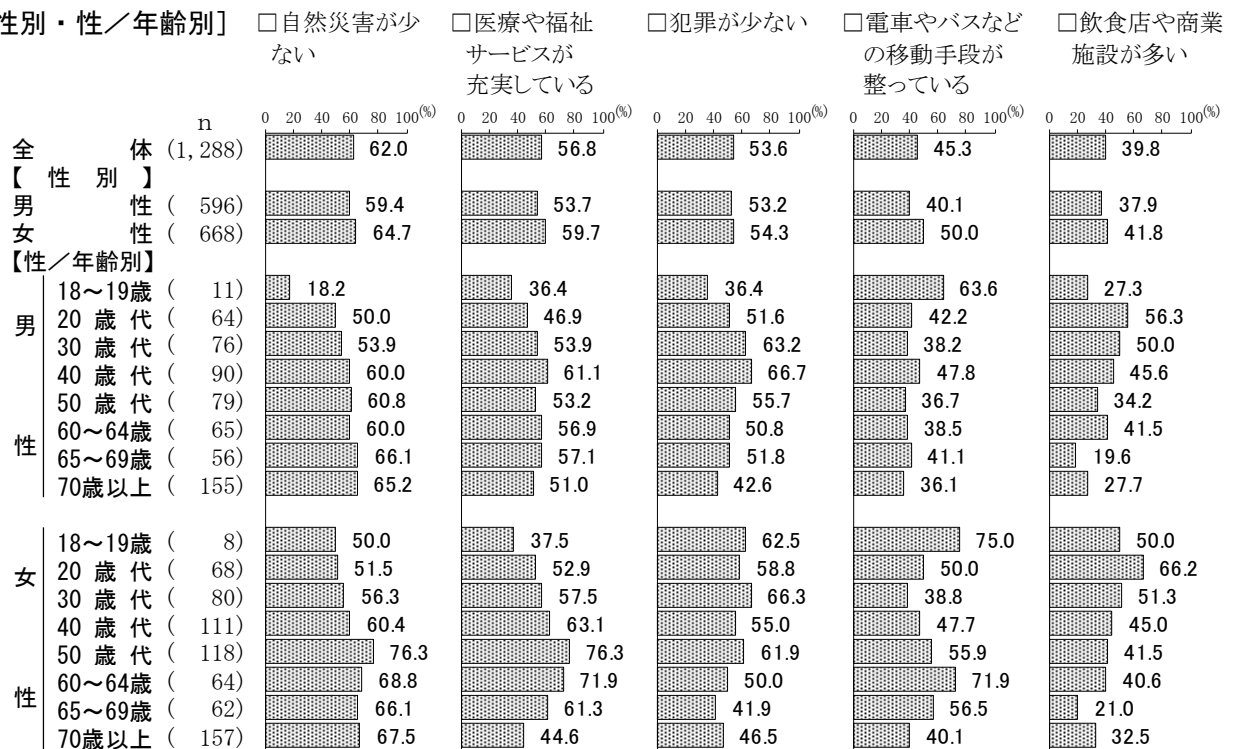
[n=1,288]

1	飲食店や商業施設が多い	39.8%
2	文化や芸術に親しめる環境が整っている	15.1
3	スポーツや運動に取り組める環境が整っている	20.8
4	レジャー・娯楽施設が多い	15.3
5	自治会などの地域コミュニティが充実している	17.4
6	子育て・教育環境が充実している	32.4
7	働く場所が多い	26.5
8	医療や福祉サービスが充実している	56.8
9	道路や公園、上下水道などの公共施設が整備されている	36.5
10	電車やバスなどの移動手段が整っている	45.3
11	情報通信インフラが整っている	16.1
12	自然災害が少ない	62.0
13	犯罪が少ない	53.6
14	自然が豊かで水や空気がきれい	39.5
15	その他	1.7
16	特にない	2.0
	(無回答)	0.5



全体で見ると、「自然災害が少ない」(62.0%)が6割を超え最も高く、次いで「医療や福祉サービスが充実している」(56.8%)、「犯罪が少ない」(53.6%)の順となっている。

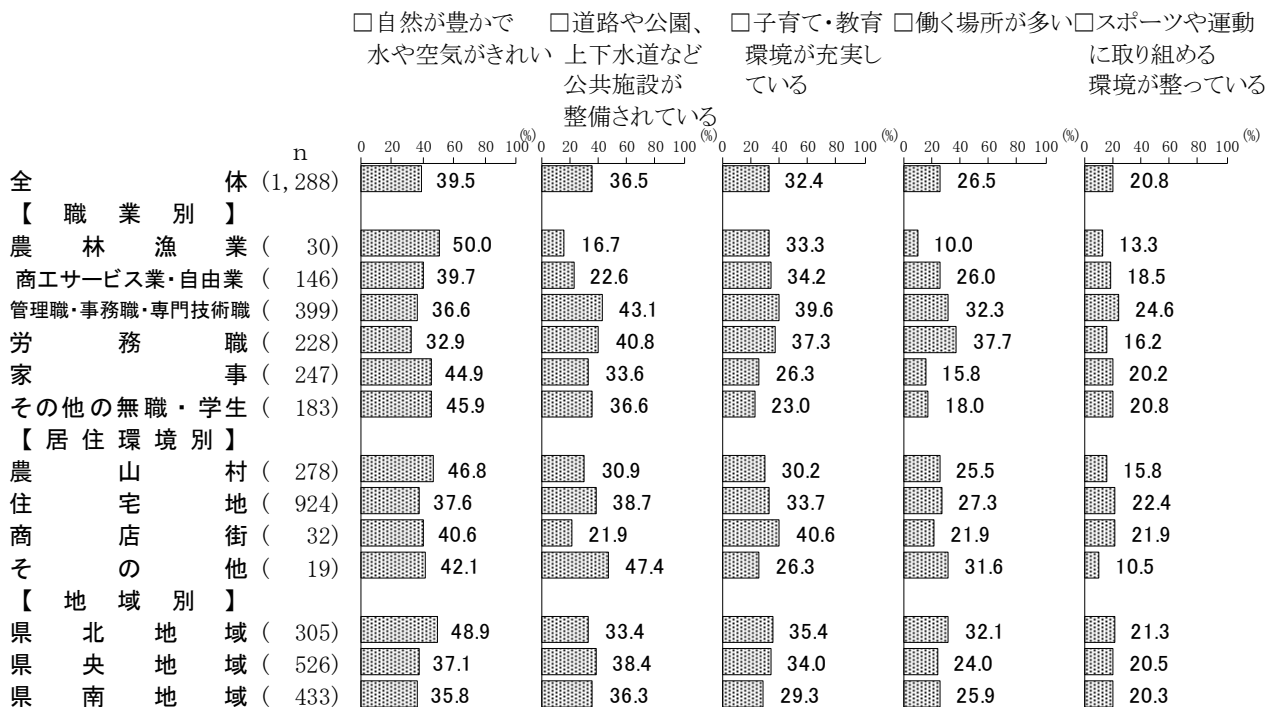
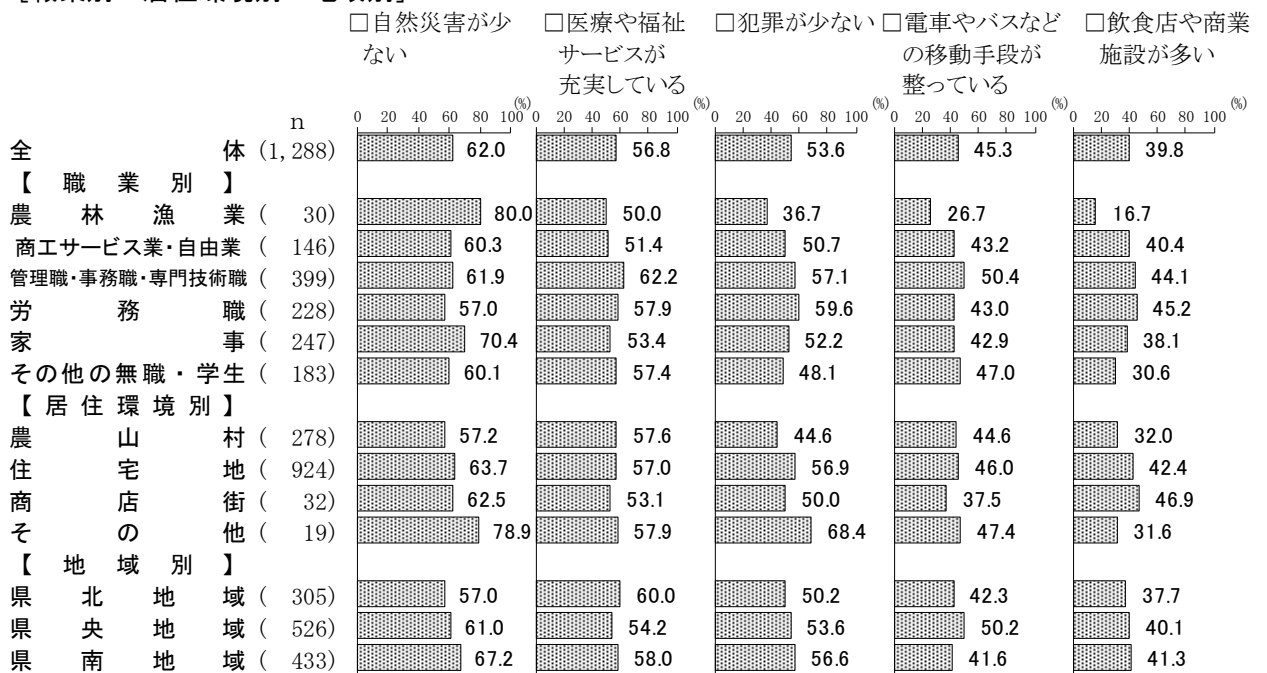
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「電車やバスなどの移動手段が整っている」では〈女性〉(50.0%)が〈男性〉(40.1%)より9.9ポイント高くなっている。「子育て・教育環境が充実している」では〈女性〉(36.2%)が〈男性〉(28.9%)より7.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「自然災害が少ない」では〈女性50歳代〉が76.3%と高くなっている。「医療や福祉サービスが充実している」では〈女性50歳代〉が76.3%と高くなっている。「電車やバスなどの移動手段が整っている」では〈女性60~64歳〉が71.9%と高くなっている。「飲食店や商業施設が多い」では〈女性20歳代〉が66.2%、〈男性20歳代〉が56.3%と高くなっている。「子育て・教育環境が充実している」では〈女性30歳代〉が80.0%、〈男性30歳代〉が57.9%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「自然災害が少ない」では〈農林漁業〉が80.0%、〈家事〉が70.4%と高くなっている。「道路や公園、上下水道など公共施設が整備されている」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が43.1%と高くなっている。「子育て・教育環境が充実している」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が39.6%と高くなっている。「働く場所が多い」では〈労務職〉が37.7%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が32.3%と高くなっている。

居住環境別でみると、「犯罪が少ない」では〈住宅地〉が56.9%と高くなっている。「自然が豊かで水や空気がきれい」では〈農山村〉が46.8%と高くなっている。

地域別でみると、「電車やバスなどの移動手段が整っている」では〈県央地域〉が50.2%と高くなっている。「自然が豊かで水や空気がきれい」では〈県北地域〉が48.9%と高くなっている。「働く場所が多い」では〈県北地域〉が32.1%と高くなっている。

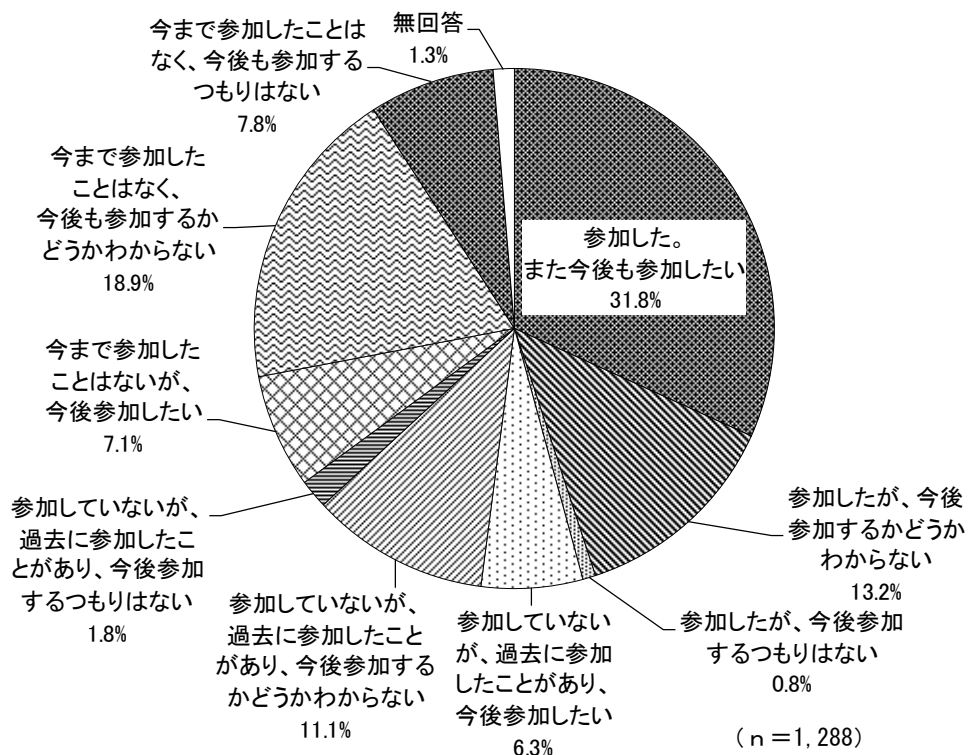
## (5) 社会貢献活動について

問10 あなたは、この1年間に社会貢献活動（※）に参加しましたか。また、今後参加したいと思えますか。次の中から1つ選んでください。

※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ・エコキャップなどの物品収集、公園清掃などの活動、ボランティアやNPO（非営利活動団体）活動、コミュニティ活動、自治会、育成会などの地域活動などをいいます。

[n=1,288]

1	参加した。また今後も参加したい	31.8%
2	参加したが、今後参加するかどうかわからない	13.2
3	参加したが、今後参加するつもりはない	0.8
4	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加したい	6.3
5	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するかどうかわからない	11.1
6	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するつもりはない	1.8
7	今まで参加したことはないが、今後参加したい	7.1
8	今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうかわからない	18.9
9	今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない	7.8
	(無回答)	1.3

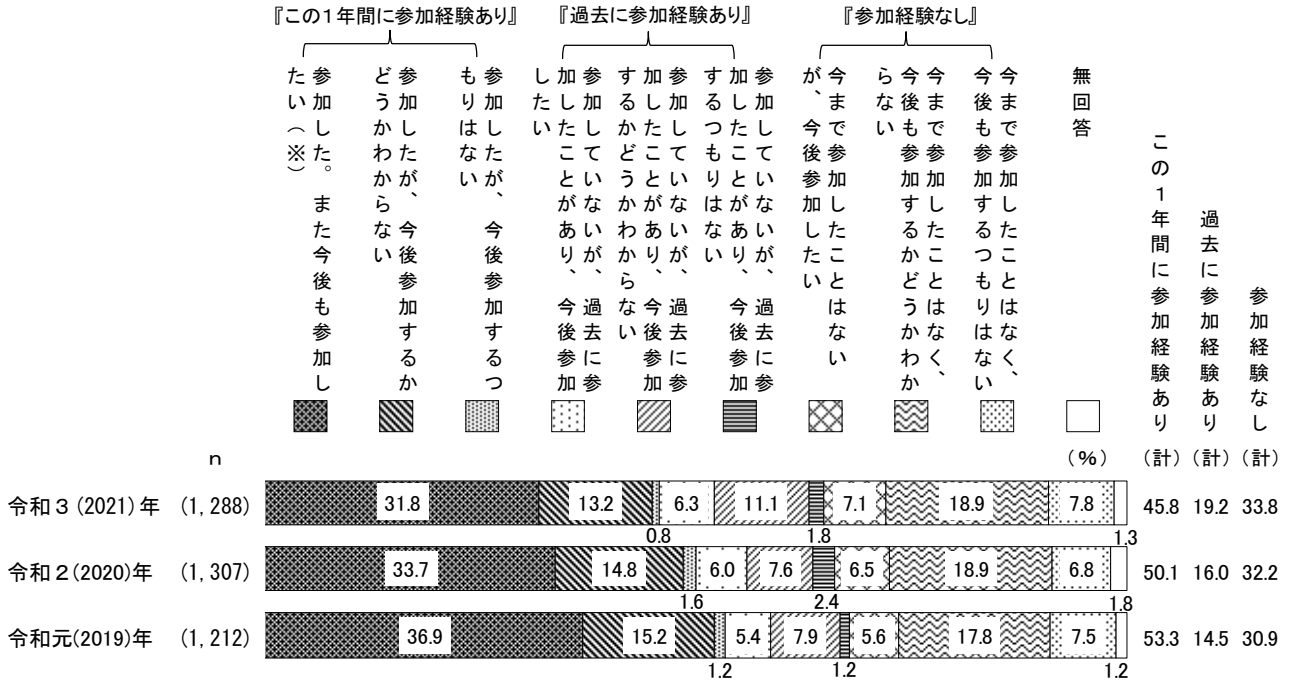


全体でみると、「参加した。また今後も参加したい」（31.8%）と「参加したが、今後参加するかどうかわからない」（13.2%）、「参加したが、今後参加するつもりはない」（0.8%）の3つを合わせた『この1年間に参加経験あり』（45.8%）が4割半ばとなっている。

「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加したい」（6.3%）と「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するかどうかわからない」（11.1%）、「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するつもりはない」（1.8%）の3つを合わせた『過去に参加経験あり』（19.2%）はほぼ2割となっている。

「今まで参加したことはないが、今後参加したい」（7.1%）と「今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうかわからない」（18.9%）、「今まで参加したことはなく、今後参加するつもりはない」（7.8%）の3つを合わせた『参加経験なし』（33.8%）は3割を超えている。

[過去の調査結果]

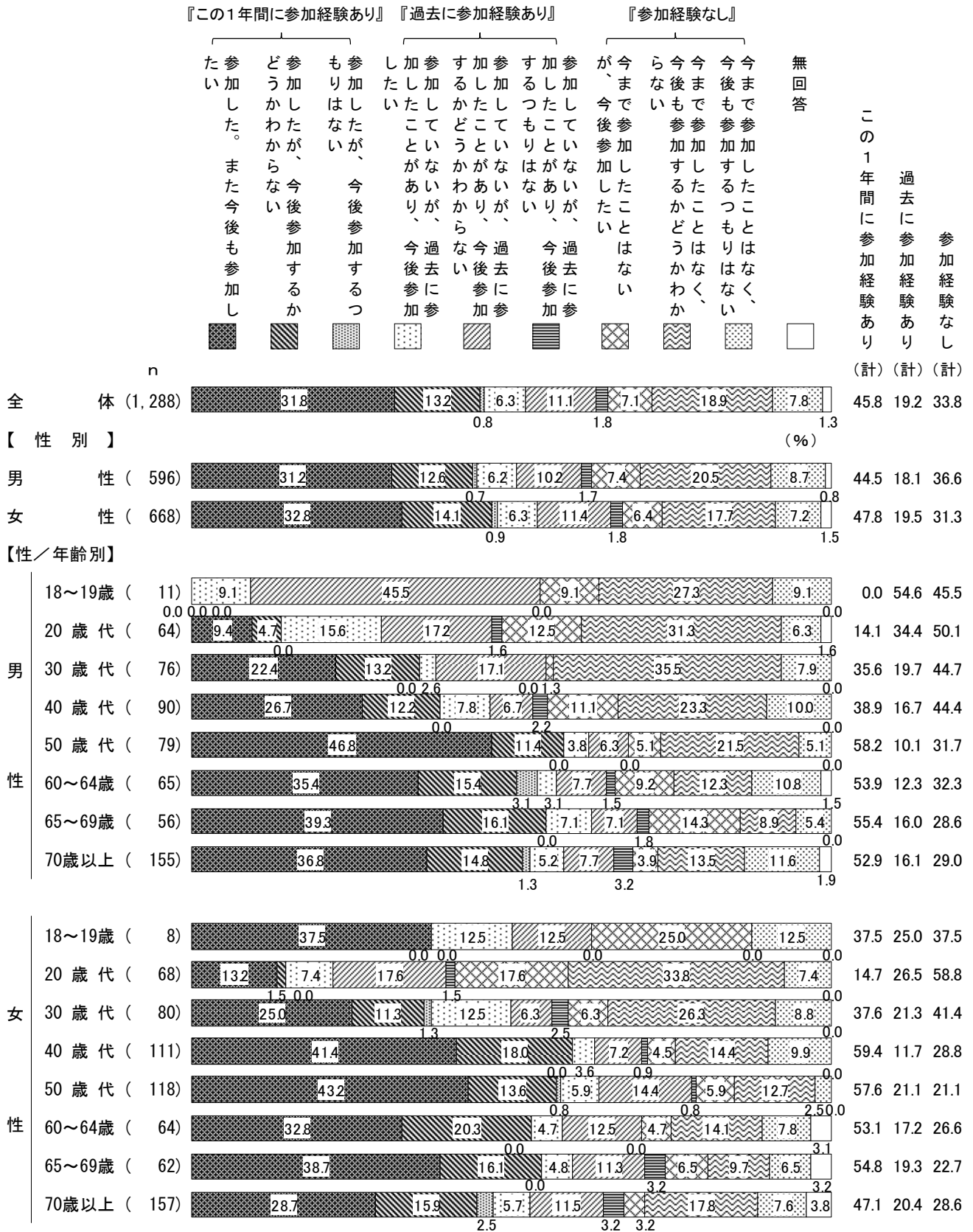


(※)「参加した。また今後も参加したい」は、令和2(2020)年までは「参加し、今後も参加したい」としていた。

過去の調査結果と比較すると、『この1年間に参加経験あり』は令和2(2020)年より4.3ポイント減少している。



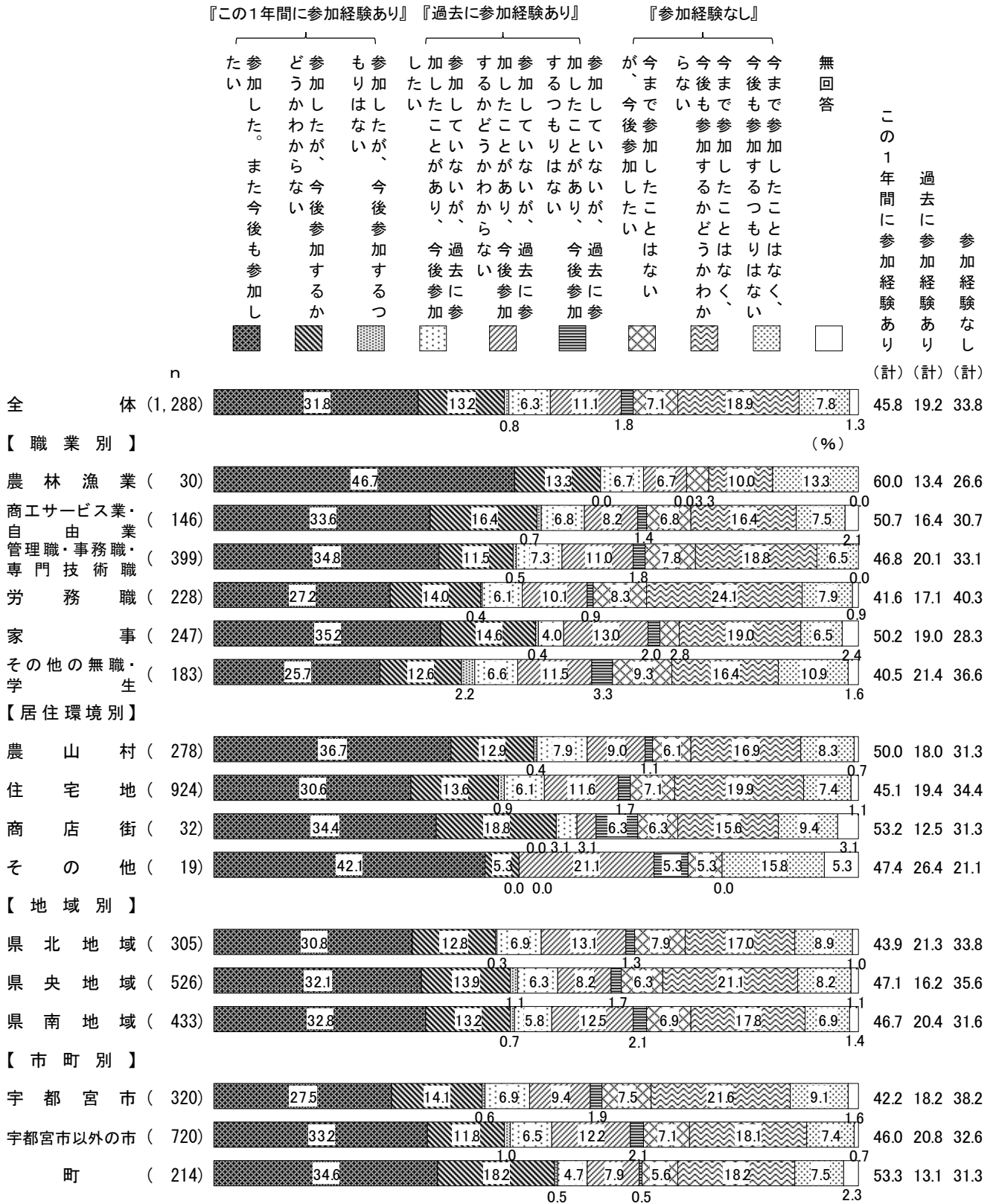
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「参加した。また今後も参加したい」では〈男性50歳代〉が46.8%と高くなっている。『この1年間に参加経験あり』では〈女性40歳代〉が59.4%と高くなっている。『過去に参加経験あり』では〈男性20歳代〉が34.4%と高くなっている。『参加経験なし』では〈女性20歳代〉が58.8%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、『参加経験なし』では〈労務職〉が40.3%と高くなっている。

居住環境別でみると、「参加した。また今後も参加したい」では〈農山村〉が36.7%と高くなっている。

地域別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈県央地域〉が47.1%と高くなっている。

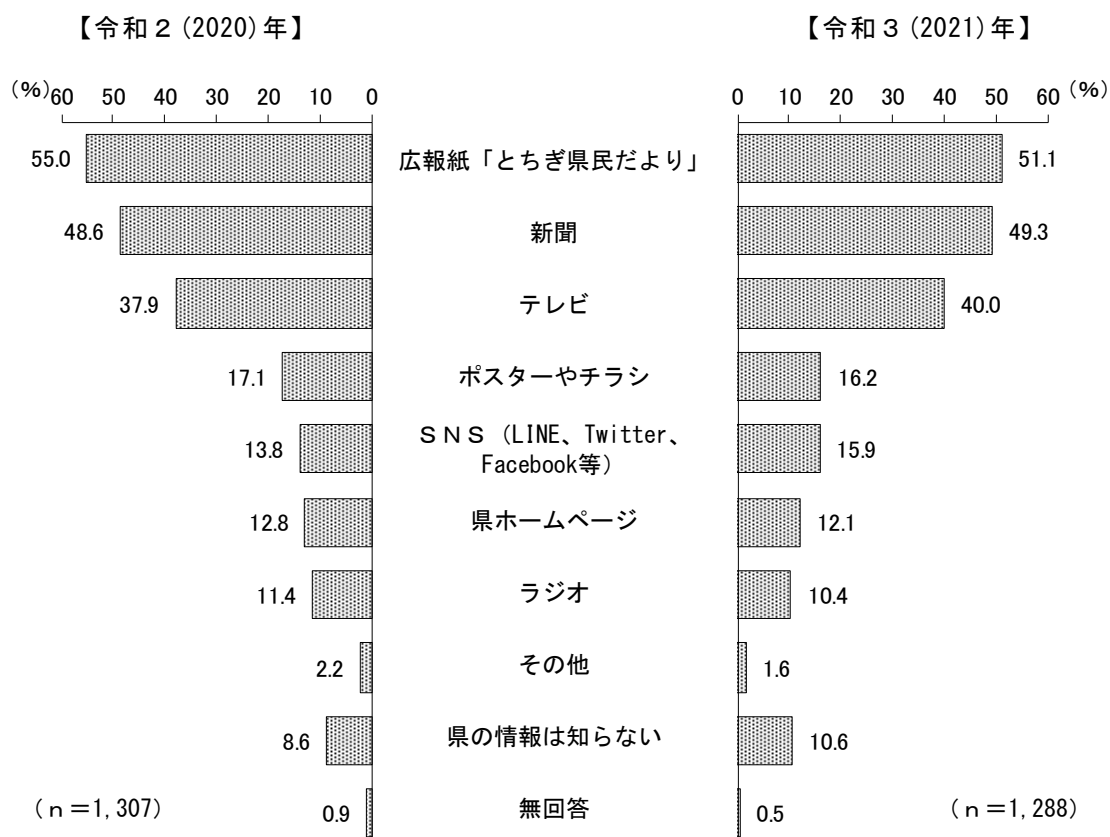
市町別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈町〉が53.3%と高くなっている。

## (6) 県の事業や催し、案内などの情報入手手段

問11 あなたは、県の事業や催し、案内などの情報をどのような方法でお知りになりますか。  
次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,288]

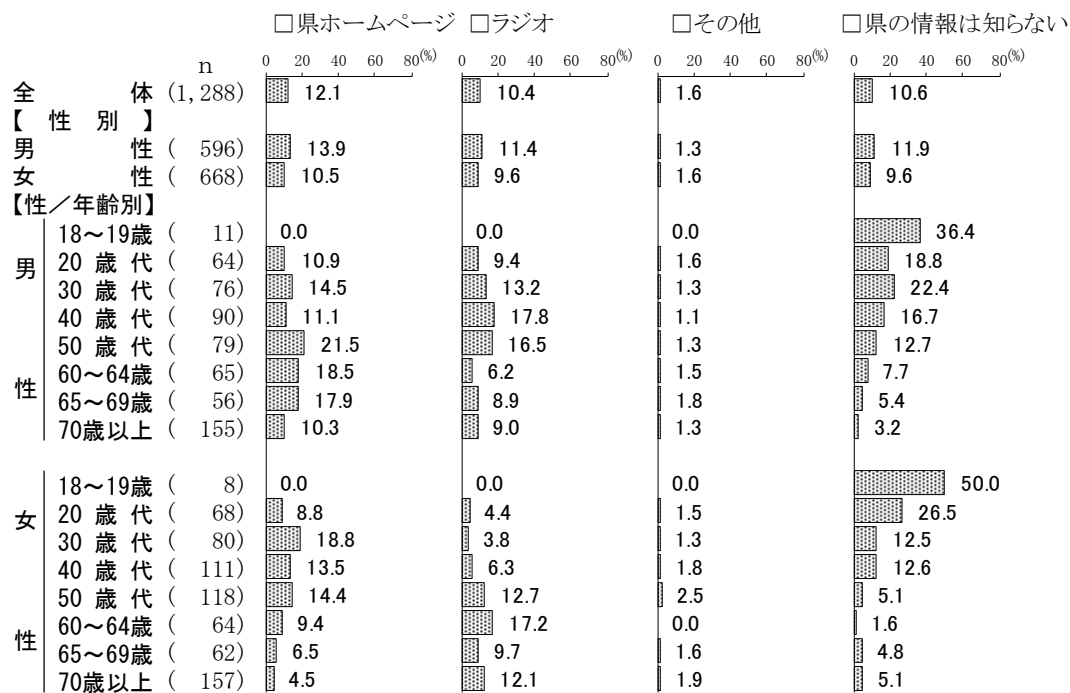
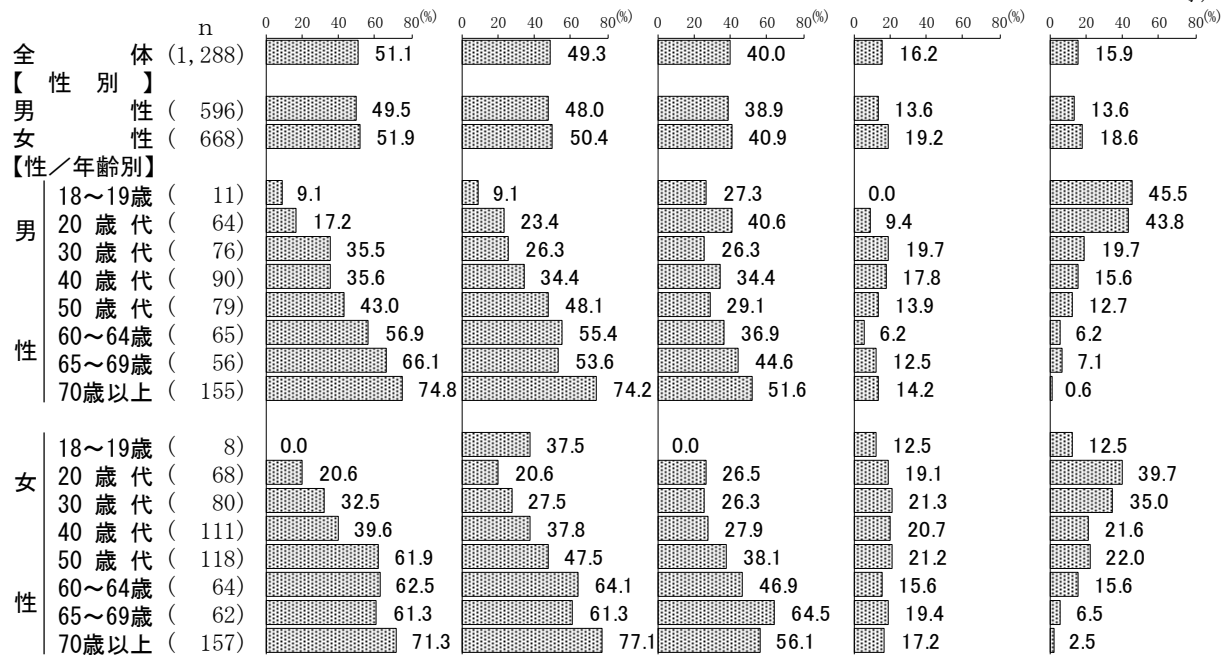
1 広報紙「とちぎ県民だより」	51.1%	6 新聞	49.3%
2 テレビ	40.0	7 ポスターやチラシ	16.2
3 ラジオ	10.4	8 その他	1.6
4 県ホームページ	12.1	9 県の情報は知らない	10.6
5 SNS (LINE、Twitter、Facebook等)	15.9	(無回答)	0.5



全体で見ると、「広報紙『とちぎ県民だより』」(51.1%)が5割を超えて最も高く、次いで「新聞」(49.3%)、「テレビ」(40.0%)、「ポスターやチラシ」(16.2%)、「SNS (LINE、Twitter、Facebook等)」(15.9%)の順となっている。

前回(令和2(2020)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

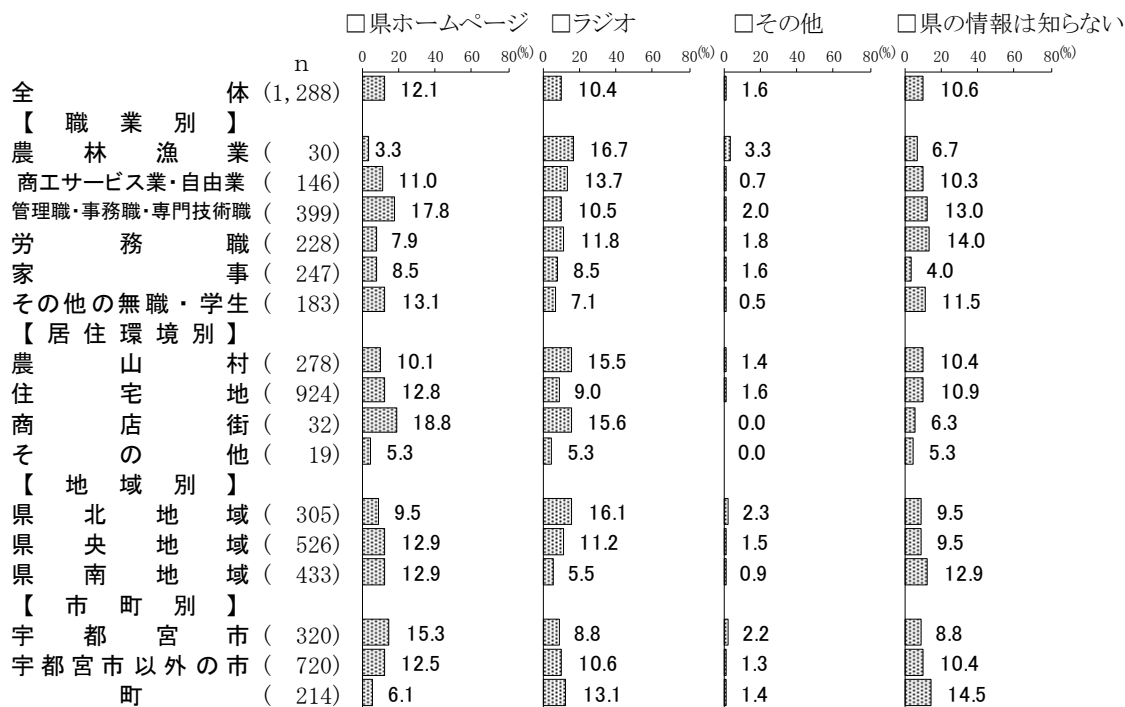
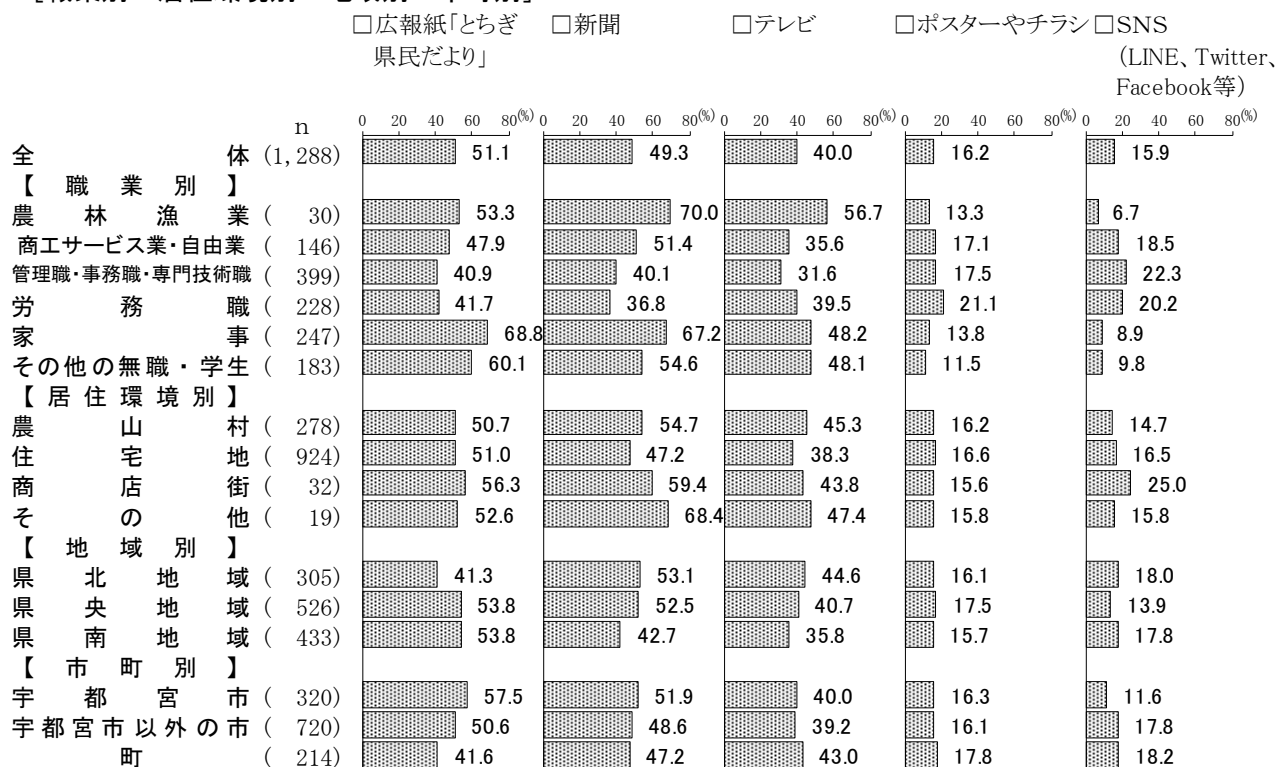
[性別・性／年齢別] □広報紙「とちぎ県民だより」 □新聞 □テレビ □ポスターやチラシ □SNS (LINE、Twitter、Facebook等)



性別でみると、「ポスターやチラシ」では〈女性〉（19.2%）が〈男性〉（13.6%）より5.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「広報紙『とちぎ県民だより』」では〈男性70歳以上〉が74.8%、〈女性70歳以上〉が71.3%と高くなっている。「新聞」では〈女性70歳以上〉が77.1%、〈男性70歳以上〉が74.2%と高くなっている。「テレビ」では〈女性65~69歳〉が64.5%、〈女性70歳以上〉が56.1%、〈男性70歳以上〉が51.6%と高くなっている。「SNS（LINE、Twitter、Facebook等）」では〈男性20歳代〉が43.8%、〈女性20歳代〉が39.7%、〈女性30歳代〉が35.0%と高くなっている。「県の情報は知らない」では〈女性20歳代〉が26.5%、〈男性30歳代〉が22.4%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「広報誌『とちぎ県民だより』」では〈家事〉が68.8%と高くなっている。「新聞」では〈農林漁業〉が70.0%、〈家事〉が67.2%と高くなっている。「テレビ」では〈家事〉が48.2%と高くなっている。「SNS (LINE、Twitter、Facebook等)」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が22.3%と高くなっている。

居住環境別でみると、「ラジオ」では〈農山村〉が15.5%と高くなっている。

地域別でみると、「ラジオ」では〈県北地域〉が16.1%で他の地域と比べて高くなっている。

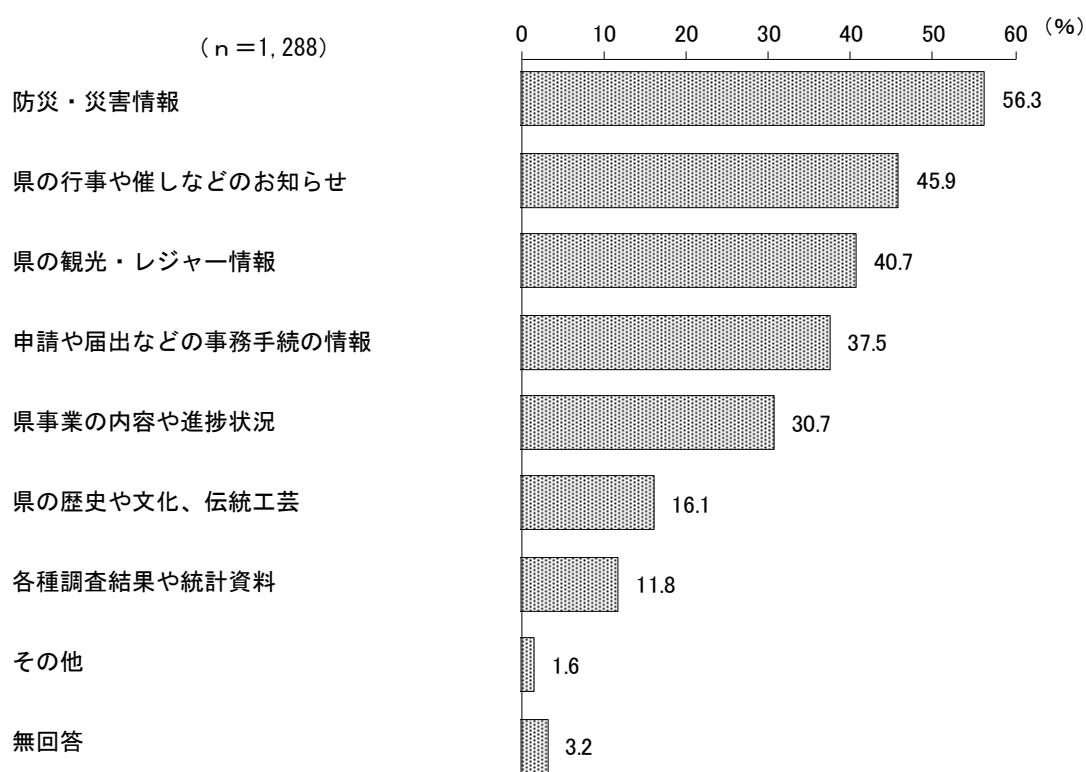
市町別でみると、「広報誌『とちぎ県民だより』」では〈宇都宮市〉が57.5%と高くなっている。

## (7) 知りたい県政情報

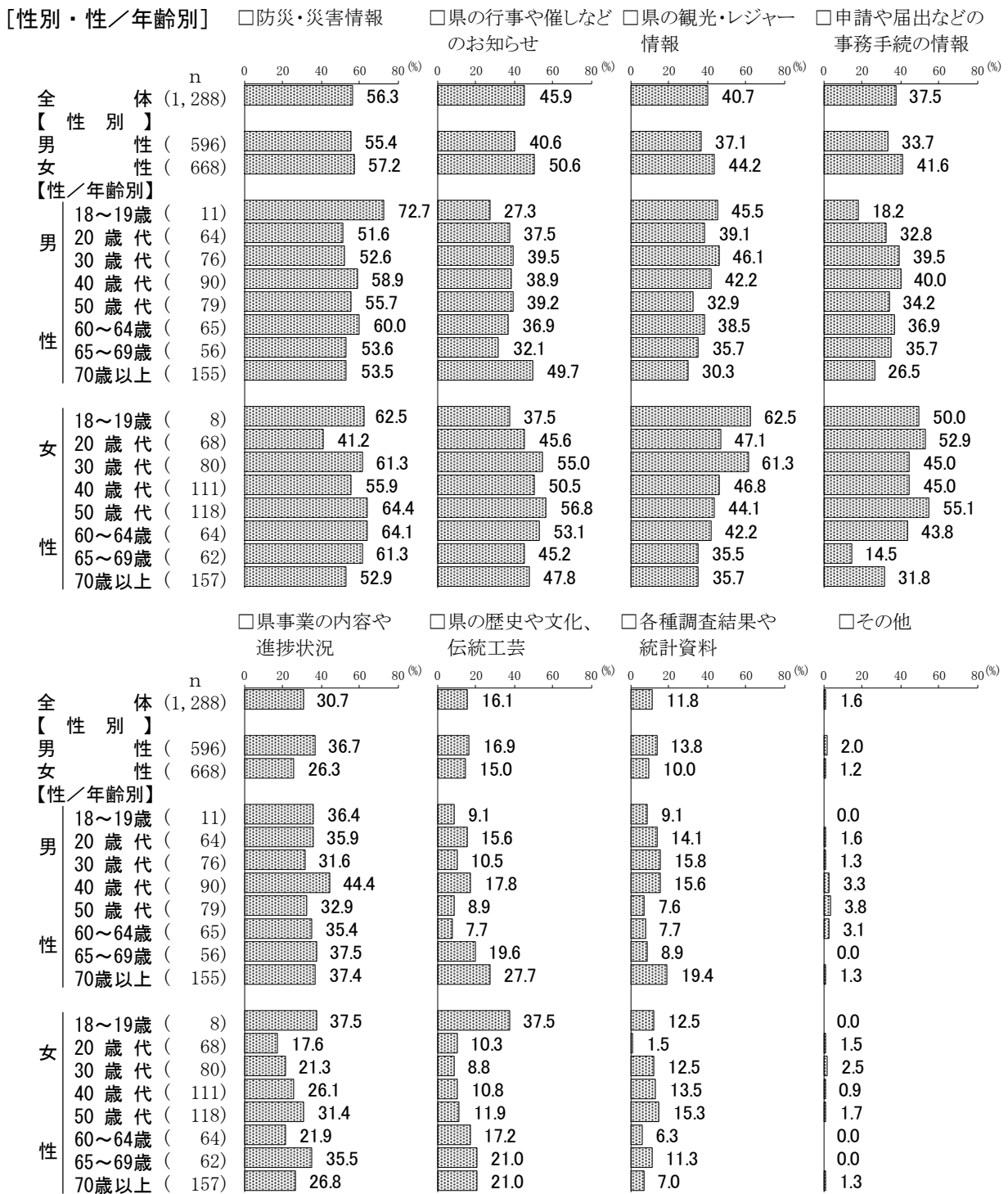
問12 あなたは、県のどのような情報を知りたいですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,288]

1	県事業の内容や進捗状況	30.7%	5	県の歴史や文化、伝統工芸	16.1%
2	申請や届出などの事務手続の情報	37.5	6	県の観光・レジャー情報	40.7
3	各種調査結果や統計資料	11.8	7	防災・災害情報	56.3
4	県の行事や催しなどのお知らせ	45.9	8	その他	1.6
				(無回答)	3.2



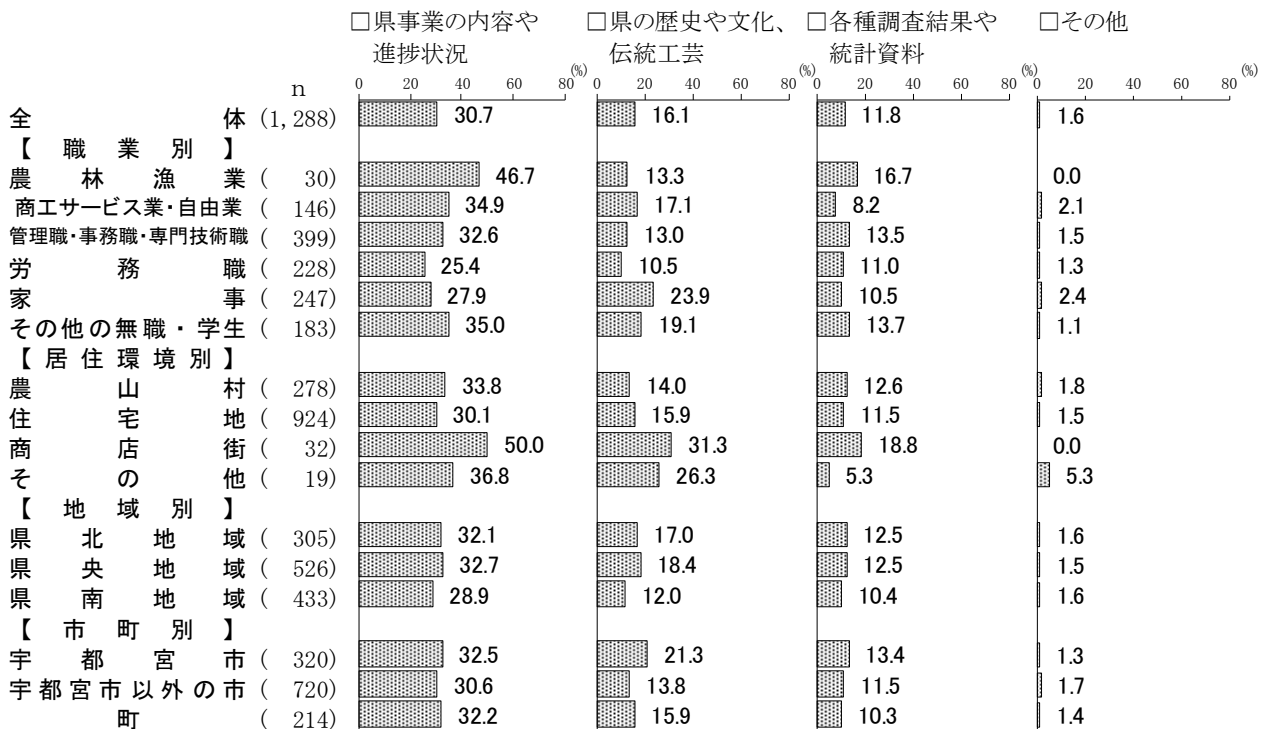
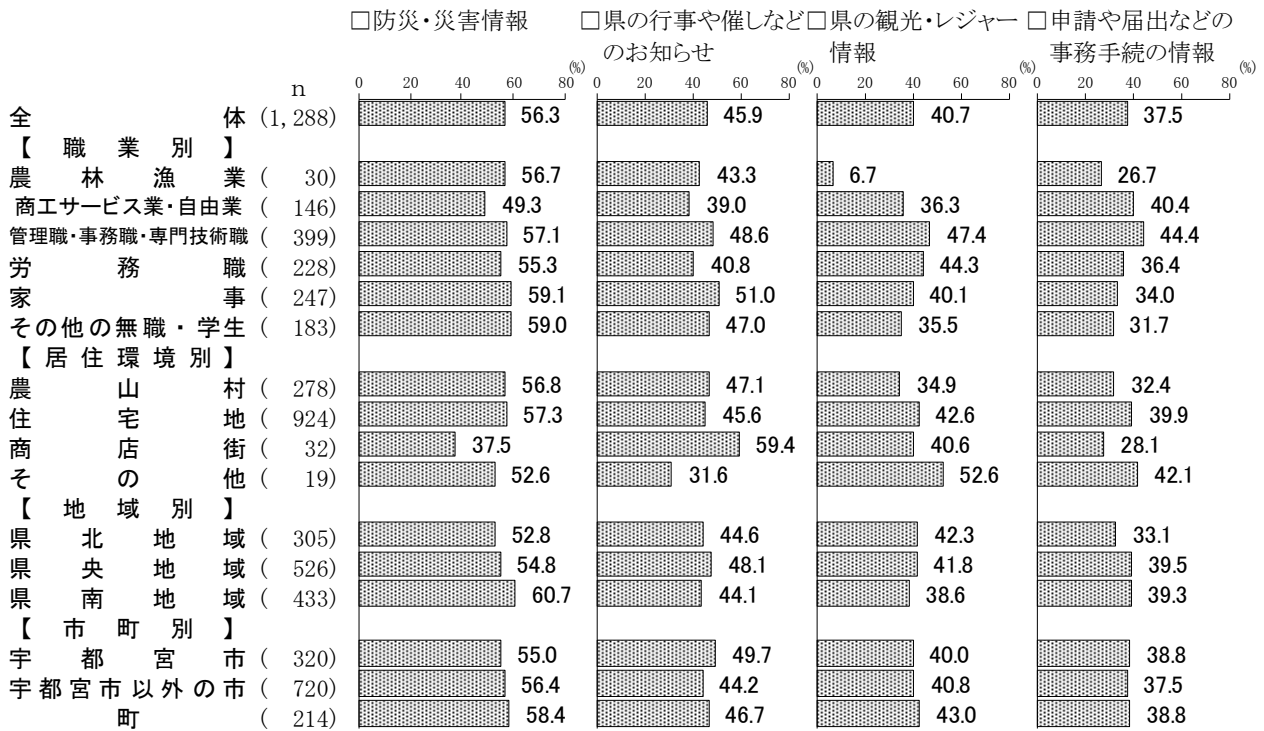
全体で見ると、「防災・災害情報」(56.3%)が5割半ばで最も高く、次いで「県の行事や催しなどのお知らせ」(45.9%)、「県の観光・レジャー情報」(40.7%)、「申請や届出などの事務手続の情報」(37.5%)、「県事業の内容や進捗状況」(30.7%)の順となっている。



性別で見ると、「県事業の内容や進捗状況」では〈男性〉(36.7%)が〈女性〉(26.3%)より10.4ポイント高くなっている。「県の行事や催しなどのお知らせ」では〈女性〉(50.6%)が〈男性〉(40.6%)より10.0ポイント高くなっている。「申請や届出などの事務手続の情報」では〈女性〉(41.6%)が〈男性〉(33.7%)より7.9ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「県の観光・レジャー情報」では〈女性30歳代〉が61.3%と高くなっている。「申請や届出などの事務手続の情報」では〈女性50歳代〉が55.1%、〈女性20歳代〉が52.9%と高くなっている。「県事業の内容や進捗状況」では〈男性40歳代〉が44.4%と高くなっている。「県の歴史や文化、伝統工芸」では〈男性70歳以上〉が27.7%と高くなっている。「各種調査結果や統計資料」では〈男性70歳以上〉が19.4%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「県の観光・レジャー情報」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が47.4%と高くなっている。「申請や届出などの事務手続の情報」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が44.4%と高くなっている。「県の歴史や文化、伝統工芸」では〈家事〉が23.9%と高くなっている。

居住環境別でみると、「県事業の内容や進捗状況」では〈商店街〉が50.0%と高くなっている。「県の歴史や文化、伝統工芸」では〈商店街〉が31.3%と高くなっている。

地域別でみると、「防災・災害情報」では〈県南地域〉が60.7%と高くなっている。

市町別でみると、「県の歴史や文化、伝統工芸」では〈宇都宮市〉が21.3%と高くなっている。